

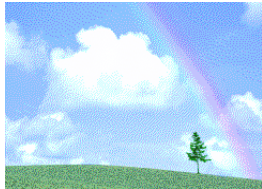
ただちに国会を解散して、国民の信を問え 応能負担で社会保障の拡充を！

# ほっかいどうの社会保障

2012年8月31日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

道社保学校まであと1ヵ月 **広げましょう！参加申し込み**

旭川市福祉保険部長もあいさつ決まる！公的施設にポスター掲示、開催要項も設置



今年の北海道社保学校は、9月30日（日）、旭川で行われます。開催まで1ヵ月となりました。企画準備が進んでいます。すでに、旭川市教育委員会や北海道新聞旭川支社が後援してくれていますが、学校当日は、山口福祉保険福祉部長があいさつしてくれることになりました。申し入れの際、市側から「公的施設に開催要項など置いた方がよいのでは」との提案をいただき、早速、設置しています。

**釧路、小樽、北見など、参加準備はじまる。道北勤医労や道北友の会などでは参加費の補助も**

各地で社保学校の参加組織が始まっています。釧路では「ワンボックスカー1台を一杯にして参加しよう」と準備をはじめ、小樽では5人参加させようとカンパも集め出しています。北見からはすでに3人の参加申し込みが届いています。札幌市内の社保協でも参加のための予算を確認し、参加者を選考中のところもあります。

現地の旭川では、参加しやすいように、道北勤医労や道北友の会も参加費の補助を決めています。

たくさんの参加で成功させましょう！

## 記念講演・講師の ジャーナリスト水島宏明さんの紹介 ①

記念講演は、「映像ジャーナリストがみた日本の貧困～母親餓死事件から25年～」です。25年前に、札幌白石区で起きた母親餓死事件。

生活保護の申請を断られ、3人の子どもを残して亡くなった母親の事件を1年半後、STV時代にルポルタージュ『母さんが死んだ』にまとめ、マスコミでも大反響を呼びました。



作成したドキュメンタリー番組も全国に衝撃を広げました。

取材を通して、この事件が特殊な事件ではなく、生活保護行政の問題があることも告発。

「あとがき」で、「最も心にひっかかったのが、遺られた3人の子どもたちだった」と紹介し、「遺された子どもたちが、母親の面影を胸に刻みながら、強く生きられんことを、心から願ってやみません」と結んでいます。今後も最新刊『間違いだらけの生活保護バッシング』なども紹介します。



**好評発売中！「道民のくらしに役立つハンドブック」(2012-2013年度版)**

1冊200円



「生活が大変！」多くの道民が悲鳴をあげています。生活相談などに最適なハンドブックです(今年度変更されて制度も)。住民税や医療費・保険料の軽減、生活保護の申請や雇用問題などくわしく解説しています。被災・避難された方々への北海道における支援も掲載。

お申し込みは、北海道社保協へ

**9月4日(火) 街頭相談会 雇用・くらし・SOSネット北海道**

10～18時 場所：札幌市大通西8丁目 雨天場合「北海道高教組センター4階(中央区大通西12丁目)」